

資料6 環境関係表彰受賞者

1 令和元年度環境保全功労者等の表彰(環境大臣表彰 令和元年6月)

(1)受賞者

＜地域環境保全功労者＞

特定非営利活動法人甲斐駒清流懇話会(北杜市)

株式会社オギノ(甲府市)

＜地域環境美化功績者＞

上野原をきれいにしよう会(上野原市)

笛吹市立富士見小学校(笛吹市)

(2)功績概要

＜地域環境保全功労者＞

・特定非営利活動法人甲斐駒清流懇話会(北杜市)

20年間に渡り、釜無川上流域の水害の歴史を語り継ぎ、地域の水防意識を高めるとともに、溪流環境の保全、川の恩恵の普及啓発を図り、地域活性化に大きく貢献した。

・株式会社オギノ(甲府市)

平成19年より荒川ダム周辺の山林1.7haへの植林及び下草刈りを実施するとともに、平成26年より富士山3合目付近での植林や鹿食害防止ガード等の設置を行うなど環境保全に大きく貢献している。

＜地域環境美化功績者＞

・上野原をきれいにしよう会(上野原市)

主に市内の駅周辺、河川敷、風致地区などの景観がきれいな場所の草刈り、不法投棄の収集のみならず、表示看板の設置、植樹を行い、清掃による環境美化活動に大きく貢献している。

・笛吹市立富士見小学校(笛吹市)

環境保全、資源の有効利用の大切さを学ぶとともに、児童・教職員が一体となって環境美化活動等を長年にわたり実践している。

2 令和元年度山梨県環境保全功績者表彰(知事表彰 令和元年6月)

(1)受賞者 団体:開地地域協働のまちづくり推進会(都留市)

団体:禾生地域協働のまちづくり推進会(都留市)

団体:富士川町立増穂南小学校(富士川町)

団体:山中湖村立山中湖中学校(山中湖村)

(2)受賞理由 多年にわたり、地域の環境保全活動に尽力するとともに環境保全思想の普及・啓発に努め、地域の模範となっている。

3 令和元年度「ふれあいの森林づくり」(国土緑化推進機構理事長賞 令和元年8月)

(1) 受賞者

甲州市

(2) 功績概要

同市は、約100haの荒廃森林の整備を進めるため、市民・学識経験者・県行政機関・林業事業者・その他関係団体・企業等とともに2009年7月に「甲州市里山創造推進協議会」を発足し、市民に喜ばれる里山づくりを目的に活動している。

当該地を整備するに当たり、市住民が森林に親しみ森林整備の大切さを理解してもらうため、CSR活動に積極的なオルビス(株)、(財)オイスカ、甲州里山創造推進協議会と森林整備協定を締結した。

森林は『甲州・オルビスの森』と名付けられ、社員やその家族が森林整備に参加することで、都市の活力を山村に導入し、国民が一体となって森林守り育て次の世代に緑を伝えていく活動が行われている。

4 令和元年度全国育樹活動コンクール(林野庁長官賞 令和元年8月)

(1) 受賞者

北富士林業研究会

(2) 功績概要

同会は、地球温暖化など環境問題が顕在化し、森林や林業への関心が高まる中、林業従事者と一般県民との交流の必要性を感じ、森林や林業への関心をもったペンション経営者や建築業者といった様々な業種の会員も受け入れ、林業の普及活動に取り組んでおり、地域や県外の小・中学生、社会人まで幅広い世代を対象に森林・林業体験活動の技術指導、普及活動を長年にわたり実施している。

林業体験活動の指導の中で、健全な森を維持することの意義や施業方法について講話も行うことで、地域の児童、生徒の森林や育樹に対する理解を深め、地域の育樹活動の普及に貢献している。

5 令和元年度全国学校関係緑化コンクール

(学校林等活動の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和2年3月)

(1) 受賞者

早川町立早川中学校

(2) 功績概要

同校は、生徒が森林と人とのかかわりについて理解を深めるとともに、郷土を愛し地域の自然に親しむ気持ち、社会に貢献しようとする公共心を育むことを目的に、平成18年から学校林において森林整備を行っている。

全校生徒20名がヒノキの伐採、丸太の運び出しを体験する。運び出した丸太は町有林から生産された木材とともに製材され、積み木に加工される。学校林から産まれた木材を利用した積み木は、品川区の児童館等の施設に寄贈され、品川区の児童らに親しまれている。

森林整備を通じて、生徒たちは森林の役割や林業について学びことで顕著な教育効果をあげている。

6 令和元年度緑化功労者(国土緑化推進機構理事長賞 令和2年3月)

(1) 受賞者

河野 東

(2) 功績概要

氏は46年の長きにわたり、造林事業に従事し、造林事業および収穫事業の重要性を認識し、造林技術、素材生産技術の習得に努めてきた。

氏が担当している大月市笹子町は急峻な地形で豪雨により多くの災害が発生する地域であったが、年の経験により培った植栽や間伐を行うことで優良造林地を造成するなど、森林の持つ公益的機能を十分に発揮できる森林の形成に貢献した。

また、氏は、間伐材の需要を拡大に取り組み、民間企業として県内初となるFSC森林管理認証(COC認証)を取得し、FSC認証材(山梨県有林材)を利用した割り箸を商品化するなど、環境に配慮した適正な森林管理を証明するFSC認証材の販売により、山梨県有林材の付加価値を高め、イメージアップに貢献した。

さらに、氏は富士・東部地区で多発していた林業の労働災害に対し、同地区の造林業を営む経営者や現場担当者らの先頭に立ち「安全対策委員会」を立ち上げ、その初代委員長に就任し、事故の発生原因やその防止策をより実践的に検討するため、現場で伐倒技術について議論するなど、参加者が自主的に安全について考え、技術を習得できる活動を行っている。

7 令和2年度さくら功労者(令和2年3月)

(1)受賞者

石和町山岸区・松本区・駅前区・山崎区

(2)功績概要

地域住民が大蔵経寺山の更なる発展を願い、計画的に毎年桜の植樹、保護及び育成管理に取り組んでいる。

植栽した桜の数は合計約900本におよび、植栽の際は、シカの食害から苗木に保護するために苗木をネットで囲い、それに加え、活動場所の外周にも200mほど防除柵を設置している。年間を通じて育成活動を行っている。また、有志で集まり活動している住民もおり、桜の育成に大変力を入れている。

同地区住民の活動箇所は、石和温泉駅北側に位置しているため、春になると駅に設置してある足湯から桜を望むことができ、市内外の人々に楽しまれている。

(受賞者の氏名は敬称略で記載しています)